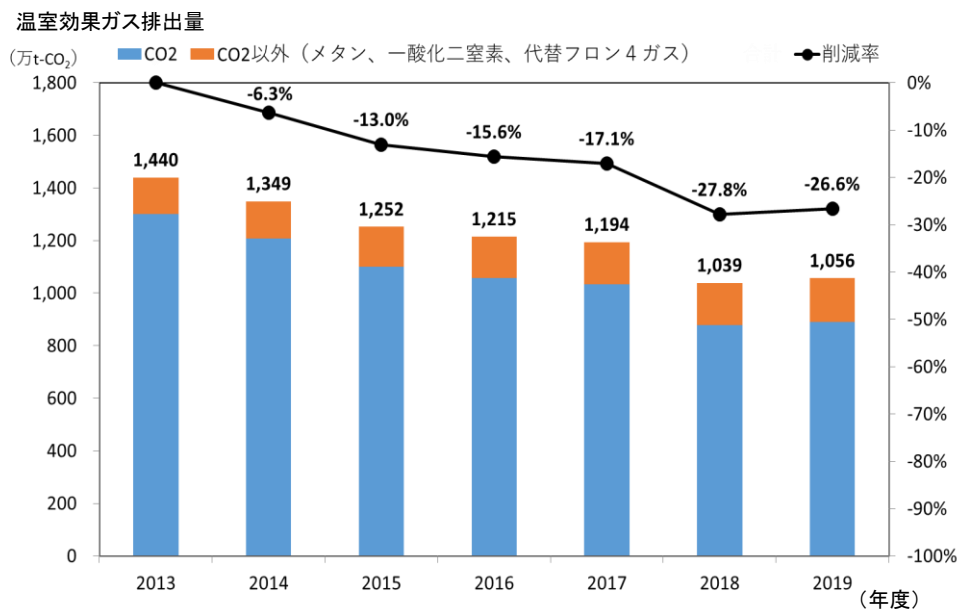


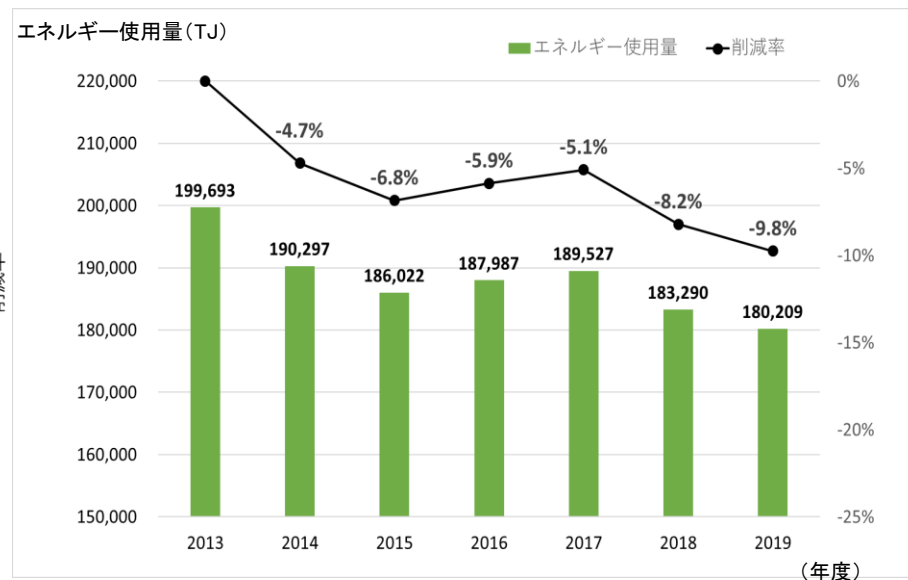
2019年度の本県の温室効果ガス排出量について

- 2019年度の温室効果ガス排出量は1,056万t-CO₂で、2013年度比△26.6%。
- 2019年度の県全体のエネルギー使用量は、省エネの浸透等により2013年度以降最少となったが、電力会社の発電時のCO₂排出割合の増加等によって、温室効果ガス排出量は前年度よりも増加。

県全体の温室効果ガス排出量の推移



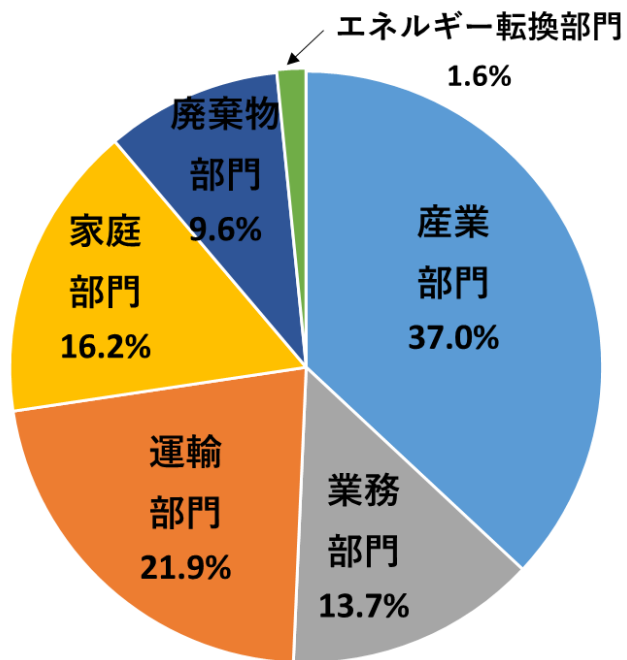
県全体のエネルギー使用量の推移



【参考】 本県の部門別の温室効果ガス排出量

部門別排出量の内訳

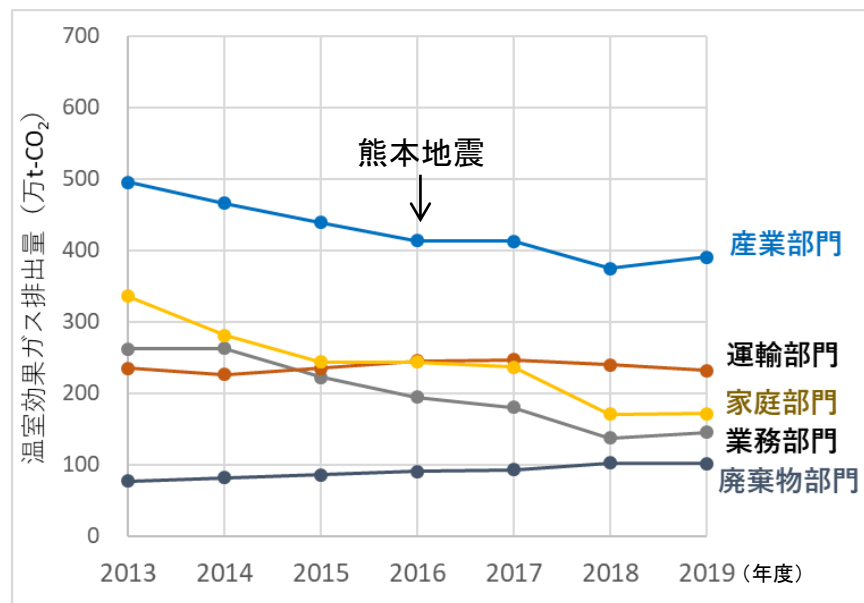
- 産業部門と業務部門の排出量を合計すると、県全体の約5割を超える。



温室効果ガス排出量の内訳(部門別、2019年度)

部門別排出量の推移

- 2013年度比で産業部門・家庭部門・業務部門の排出削減は進んでいるが、廃棄物部門は横ばい。
- 2019年度の運輸部門の排出量は、熊本地震以降はじめて2013年度比で減少に転じた。



部門別の温室効果ガス排出量の推移